

0610

府



受領 件名 電燈之線柱建設用地使用ノ件	審判 第一九二三号 機密課長 主務課員	大臣 機務課長 主務課員	決 機務課長 主務課員	裁 機務課長 主務課員	領受 十月六日 機務課長 主務課員	結 十月十六日 機務課長 主務課員	事務課長 主務課員 著合放ノ課局案立
------------------------------------	--	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

上卷之三 第一。六六 錦下 八 未 乘
計 志 事 曰 之 極 者 省 其 精 之 所 使
用 為 此 義 善 文 各 之 其 集 者 有 之
是 各 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之
書 下 共 之 返 却 主 未 返 此 各 之 之
書 也

遺囑第一二四五號

所
指
今
樓

東 宋 府

本集自五、二而第一。六六律、八

日陸軍省用地使用之義東京電

大 功

六世

第一 志望部 二 志

不減卷第九二之碑留之國系
計知事有同心少卿系族地所
建用也之公一之

五十七

一



陸軍省 第九二三號

二万第 六六号

電燈支線柱建設敷地使用件票伺

東京市浅草區南元町東京電燈株式會社

ヨリ陸軍省用地へ電燈支線柱壹本建設

ノ儀願出候ニ付別紙命令書ヲ下付シ許可

致度此段相伺候也

明治三十四年十月十四日

東京府知事男爵千家尊福



内務大臣男爵内海忠勝殿

陸軍大臣男爵兒玉源太郎殿

十月十五日

命令書

東京市浅草區南元町三十七番地

東京電燈株式會社

第一条 建設許可ノ位置、東京市麻布區三河台町二十四番地内

別紙圖面ノ通り電燈支線柱壹本トス

第二条 使用ノ目的ハ電燈支線柱建設ノ敷地ニ供スルモノトス但無

料トス

第三条 使用期限ハ許可ノ日より滿十一年トス

第四条 當廳ノ許可ヲ得シテ目的外ニ使用シ又ハ免許權ヲ擔

保若クハ貸付ニ供シ又ハ之ヲ他ニ移スコトヲ得ス

第五条 建設ノ爲メ掘鑿ニ係ル土地ハ跡埋復旧ノ上堅牢ニ撞固ム

ハシ

第六条 使用中公害ヲ生シ又ハ法令ノ施行ニ依リ若クハ當廳ニ於テ

必要ト認ムトキハ何時ニテモ本令書ノ条項ヲ増減變更シ又

ハ使用ノ全部ヲ取消シ若クハ停止スルコトアルヘシ

第七条 使用人ニ於テ本令書ノ条項ニ違背シタルトキハ之ヲ生

スル損害ヲ賠償セシムルニミナラス本免許ヲ取消スコトアルヘシ

第八条 使用ノ爲メ他ニ障害ヲ加ヘ又ハ障害ヲ及ボサレタルトキハ會

社ノ費用ヲ以テ之ヲ除却又ハ豫防スヘシ若シ之ヲ怠リタルトキハ

當廳ニ於テ之ヲ爲シ其費用ヲ追索ス

第九条 第六條第七條ニ依リ使用權ヲ喪失シ若クハ停止ヲ受ケ又

ハ増減變更ヲ生スルニ當廳ハ其損害ヲ責ニ任セス

前項ノ場合ニ於テ其土地ニ現存セル私有物ハ會社ノ費用ヲ以テ

指定期限内ニ除却スヘシ若シ之ヲ怠リタルトキハ第八條ヲ準

用ス

第十条 期限満了若クハ使用人ノ都合ニ依リ使用地返納ノ場合

ニ於テモ前条第二項ヲ適用ス

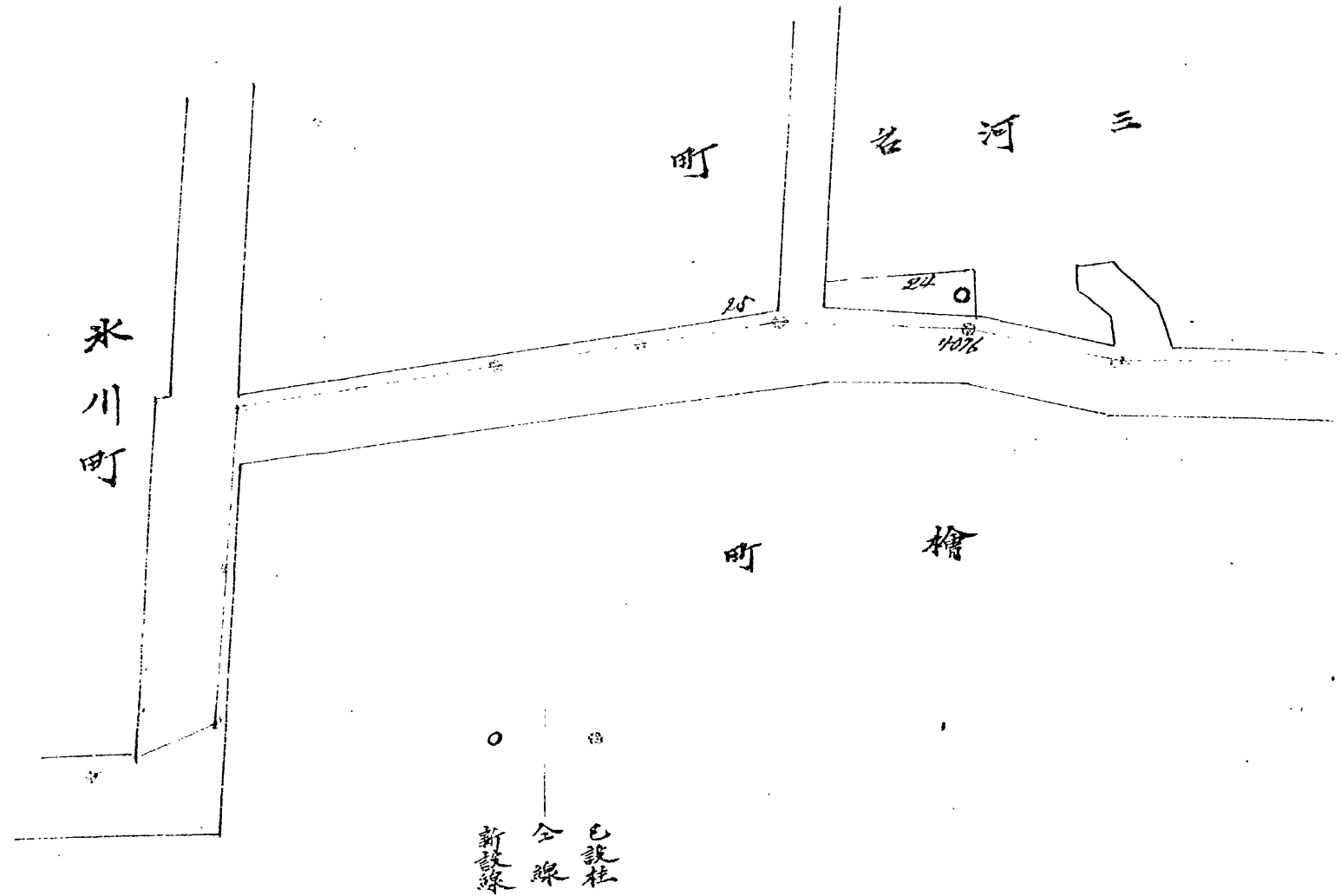
右ノ条項堅ク遵守ス

年月日

東京府知事 左

東京府知事 左

4190



美

陸軍第一四〇號

陸軍省

明治三十四年十一月九日

本年十月廿一日送甲第一二四五號
以テ市照會相成時貴省用地使用
許可付異存無之ニ付指令書ハ捺
印之上書類ト爲ニ及迄度時此如回
答也

明治三十四年十月三十日

内務大臣男爵内海嘉徳

陸軍大臣男爵児玉源太郎殿



内務省